

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2022年 6月 1日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県いなべ市北勢町阿下喜3436番地

氏名 北勢レミコン株式会社

代表取締役社長 出口玉樹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0594-72-7470

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北勢レミコン株式会社
事業場の所在地	いなべ市北勢町阿下喜3436番地
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E21 製造業/ 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	2億円/年
③ 従業員数	10名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>●コンクリート汚泥 ⇒ プラント洗浄水及び生コン車洗浄水をトロンメル回収機により、骨材(砂利・砂)とスラッジ水に分離し、スラッジ水を水中ポンプにてスラッジ攪拌槽に移送する。セメント成分が終結するまで攪拌し、翌日3時間程度沈降させ、上澄水とスラッジ水に分離する。上澄水を上澄水槽に移送し、生コンの練り混ぜ水、プラントのミキサ洗浄水及び生コン車ドラムの洗浄水用に再利用する。スラッジ水は脱水機にて、水とスラッジケーキに分離し、水は上澄水槽に、スラッジケーキは、汚泥置き場にて、しばらく乾燥させ、セメントの原料として、再利用に中間・最終処理委託する。</p> <p>●残りコンクリート ⇒ 残コン置き場に廃棄し、翌日 硬化したコンクリートを建設機械にて破碎し、コンクリートくずとし、一定期間硬化させ路盤材再利用に 中間・最終処理委託する。</p>

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

①総括責任者: 廃棄物適正管理の決定、廃棄物適正管理の総括責任、廃棄物適正管理の規格及び、マニュアルの承認、廃棄物適正管理に関する各種事項の決定と承認。 ②社内委員会: 廃棄物適正管理及び、マネジメントシステムの維持と改善に関する審議。 ③管理責任者: 廃棄物適正管理の方針の周知徹底、廃棄物適正管理に維持と改善管理、廃棄物適正管理のマニュアルの管理、廃棄物適正管理に関する総括責任者の決定と承認事項推進の企画、社員への環境(廃棄物適正管理)の教育の規格。 ④管理推進者: 廃棄物適正管理の維持と改善の推進、廃棄物適正管理に関する総括責任者の決定と承認事項の推進、社員への廃棄物適正管理の教育の推進。 ⑤管理担当者: 監督官庁への報告事務(窓口)、廃棄物適正管理に関する情報公開(窓口) ⑥処理施設技術管理者: 産業廃棄物に関する処理施設及び、技術を適正に管理する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組)	
①コンクリート汚泥 : プラントミキサの洗浄回数の削減、生コン車ドラム内の洗浄回数の削減。 ②コンクリートくず : 昨年同様、協同組合事項にて、戻しコンクリート禁止、残りコンクリート発生の抑制。地元住民の土間コンクリート工事等に無償提供。工場内にて、土留め用ブロックを作成し、販売又は、無償提供。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組)	
現状維持		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 経費削減の為、コンクリートくず及び、汚泥でコンクリートくずが細かいと、汚泥扱いになるので、なるべく大きなコンクリートくずにして、汚泥を減らす。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
残りコンクリートで、コンクリートくずになる前に、土留め用ブロックを作成する。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
現状維持。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
スラッジ水は脱水機にて、水とスラッジケーキに分離し、スラッジケーキは汚泥置き場にてしばらく乾燥させる。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		
現状維持。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 実施していない	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 予定なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(これまでに実施した取組) ①再生利用業者への委託を推進しています。 ②委託業者への定期的現地確認を実施しています。		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(今後実施する予定の取組)		
現状の取り組みを継続する。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7  欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います  
 }  
 } 記入不要です

項目		廃棄物の種類		現状/計画																			合計量 (t)	
				ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ ゴムくず	ク 金属くず	ケ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コ 鋳さい	サ がれき類	シ ばいじん	ス 紙くず	セ 木くず	ソ 繊維くず	タ 動植物性残さ	チ 家畜のふん尿	ツ 家畜の死体	テ 動物系固形不要物		ト 13号廃棄物
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																					0	
		今年度目標		2000						1500														3500
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																					0	
		今年度目標																					0	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																					0	
		今年度目標																					0	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																					0	
		今年度目標		1800																				1800
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																					0	
		今年度目標																					0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																					0	
		今年度目標		200						1500														1700
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																						0
		今年度目標		200						1500														1700
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																						0	
	今年度目標																						0	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。